

急性心筋梗塞患者における退院時の ACE 阻害剤もしくは アンジオテンシン II 受容体阻害剤投与割合

本指標は日本病院会における QI プロジェクトの指標を参考に、DPC 分析ソフト「ヒラソル」を用いて、下記の定義に基づき算出しております。「ヒラソル」にて他施設も同条件で算出することにより、一定程度の施設との比較をすることが可能となります。

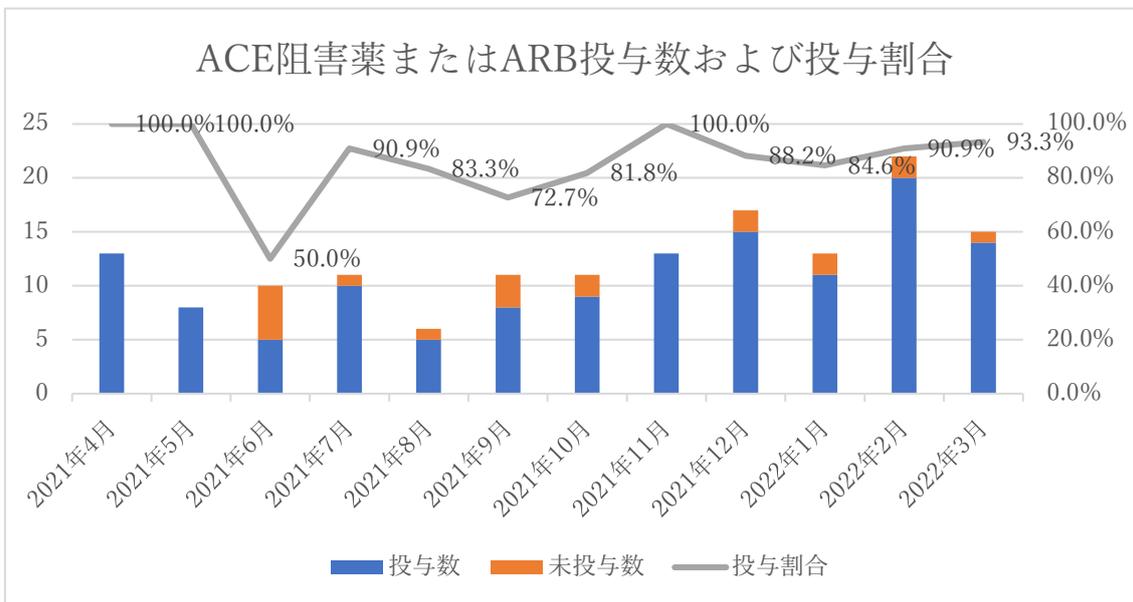
<指標の説明・定義>

急性心筋梗塞発症後の長期予後を改善する目的で、ACE 阻害薬あるいはアンジオテンシン II 受容体拮抗薬（ARB）の投与は、日本循環器学会ガイドラインで推奨されています（<http://www.j-circ.or.jp>）。この処方率は海外の医療の質の評価指標としても採用されており、広く認識された指標であるといえます。

本指標は下記の定義に基づき算出しており、値が高いことで、治療の「プロセス」を評価できます。

- 分子： 分母のうち、ACE 阻害剤（ACEI）もしくは
アンジオテンシン II 受容体阻害剤（ARB）が投与された症例数
- 分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数
 - 収集期間： 2021 年 4～6 月分、2021 年 7～9 月分、
2021 年 10～12 月分、2022 年 1～3 月分
 - 使用データ： DPC 様式 1、F ファイル、EF ファイル

<2021 年度 ACE 阻害薬あるいはアンジオテンシン II 受容体拮抗薬（ARB）投与数および投与割合>



<2021 年度 ACE 阻害薬あるいはアンジオテンシン II 受容体拮抗薬（ARB）投与割合ベンチマーク（ヒラソル登録施設）>

